

4 歳児（ほし組）保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い（省略）

2 週のねらいと内容(10月20日～10月24日)

- 友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさ、心地よさを味わう。
- 自分の思いを言葉や動きで表し伝えながら、友達と遊ぶことを楽しむ。
- ・友達と誘い合いながら体を動かす遊びを楽しむ。
- ・友達と同じ場で遊ぶことを楽しみ、自分の思いを動きや言葉で伝えようとする。
- ・身近な秋の自然物を使って工夫したり、好きな物を作ったりする。

3 本日の指導計画

ねらい

- 友達と一緒に思いや考えを出し合ったり、自分のイメージを様々な方法で表現したりして遊ぶ。
- 身近な秋の自然に関わる中で親しみを感じ、遊びに取り入れようとする。

時 間	内 容	援助と環境構成
9 : 00	○朝の集まりに参加する。 ・一日の流れを把握し、次の活動の用意をする。	○一日の予定を伝え、見通しをもって生活できるようにする。
9 : 10	○自分のしたい遊びを見つけて取り組む。☀☂ ・木登り、雲梯、のぼり棒などに自分なりの目標をもって遊ぶ。☀ ・ルールのある遊びを友達と一緒に遊ぶ。☀☂ ・ままごとやお店屋さんごっこなどでやりとりを楽しむ。☀☂ ・リズム室でサーキット遊びなど、体を使った遊びをする。☂ ・リズム遊びをする。☀☂ ・秋の自然物を使ってごちそうを作ったり、製作に使ったりする。☀☂ ・園庭の草花を見て様々な色に気づき、目的の色を出すために試しながら遊ぶ。☀ ・砂遊びをする。☀ ・砂や赤土の感触の心地よさを味わいながら泥団子やごちそう作りをして遊ぶ。 ・友達や年長児と一緒に水路や砂山を作ることを楽しむ。 ・雨の日の散歩をする。☂	○幼児の思いに傾聴しながら遊びに必要なものを一緒に準備する。 ○自分の力を発揮しながら遊びに取り組めるように、幼児の頑張りにも共感し自信や意欲につなげていく。 ○自分たちで遊びを進めようとする姿を認め、必要に応じてルールの確認や声かけを行い、幼児が決まりを意識しながら遊べるようにする。 ○幼児が自分らしく表現できるように、幼児のイメージに添った空き箱や画材などを聞いたり、提案したりする。 ○体を十分に動かす楽しさや心地よさを味わえるようにする。 ○音楽に合わせて踊ったり音を鳴らしたりする楽しさを幼児と共有し、表現するうれしさを感じられるようにする。 ○自分なりに試したり表現したりする姿を見守りながら、幼児のイメージを実現できるように援助していく。 ○幼児の喜びや気づきに共感し、意欲的に活動に取り組めるようにする。 ○砂や赤土、水の感触を一緒に味わいながら、幼児の思いを言葉や表情で共感し、友達と一緒に遊ぶおもしろさを味わえるようにする。 ○友達とイメージを共有しながら遊びが充実できるように、幼児の思いを周りに知らせたり言葉を補ったりする。 ○雨が傘に当たる音や冷たさ、雨の日の楽しさに気付けるように教師も一緒に感じたことを幼児と伝え合い、気づきに共感する。

10 : 00	<p>○片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の使った道具や周りにある道具に気づき、片付ける。 	<p>○友達と協力して片付けをしながら、きれいになる気持ちよさや友達の存在を認め合えるような言葉がけをする。</p>
評価	<p>(幼児の育ちを捉える視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを言葉で教師や友達に伝えたり、自分らしく表現したりしながら遊べていたか。 ・様々な色や形の自然物をたくさん集めることを喜んだり、遊びに取り入れたりする楽しさを味わえたか。 <p>(保育を振り返る視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝えたり、自分らしく表現をしたりできるよう必要に応じた援助ができたか。 ・自然物や生命に親しみ、一緒に考えたり試したりできる環境構成や援助ができたか。 	